

2023年

303号

8月16日(水)

# ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



## 皆さんのお力とお知恵をお貸しくください 和田幸雄・新支部長 挨拶

第31回越谷支部定期総会で吉田支部長のリリーフとして支部長に選出されました和田幸雄です。皆さんのお力をお借りして1年間頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

私は長野県長野市の善光寺のそばに生まれ、建設省関東地方建設局京浜工事事務所に就職し、神奈川県川崎市に出てきました。当時の建設省(現在の国土交通省)は、土木関係業者の力がまだ未成熟で、建設機械は建設省にしかなく、業者に貸し出して工事を請け負わせる状況でした。

その後政府の景気対策の目玉として公共事業が取り扱われ、中曽根内閣時代には10年間で680兆円の公共投資を行う事を、レーガン大統領に

約束し現在の1,000兆円以上の負債を背負いこむ原因の一つとなりました。

私たちが年金生活者にとって、物価上昇に見合った年金引き上げがなく、75歳以上の医療費窓口負担が2倍になるなど、ますます年金生活者の生活が苦しくなっています。

健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化することにより、現在色々な不具合が発生し、特に他人のお薬手帳の情報に基に薬を処方されたら、生命にかかわる重大な問題を引き起こしかねません。

マイナンバー制度は個人を単位にしているのに対し、健康保険は世帯を単位としており、基本システムが異なっており強引な統合に無理があり、至る所に不具合が発生する原因となっています。

今こそ一度立ちどまりシステムを再検討する必要があるのではないのでしょうか。

今年の越谷支部執行体制は、昨年より2名少なくなっており、組合員のお力をお借りする事がますます多くなると思っています。

皆さんのお力とお知恵をお貸しくください。年を取ると力は弱くなるが知恵はますます

旺盛になると言います。

昔から「3人寄れば文殊の知恵」と言われていますが、230人が集まればどれだけ知恵が湧き出すかわかりません。年金者組合の「楽しみ7分・活動3分」を今年1年組合員のご協力を得て活動を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

支部長 和田幸雄

## 世界の平和を祈り 灯ろう流し



8月5日(土)「平和を願う音楽と灯ろう流しの夕べ」が中央市民会館裏の芝生で開かれました。

ビール、おつまみ、ソフトドリンク、かき氷等を売店で購入し、17時半から、うたごえ広場、ファミリーコンサートを楽しみ、ひとつ500円の灯ろうを購入し、「世界平和」など思い思いの願いを描いて葛西用水に流しました。今年で「灯ろう流し」は18回目だそうです。(五十嵐)

## 点 睛

### 各国比較でわかる マイナンバーの異常

底なしのトラブルが続くマイナンバーカード、同様の制度やカードは他国ではどう扱われているのか、主要7カ国(G7)の実情について、加藤勝信厚生労働相は7月5日の国会で次のように発言しました。『G7(主要7カ国)各国の状況を申し上げますと、異なる行政分野に共通する個人番号制度を有したうえで、個人番号を確認できるICチップ付きの身分証明書となるカードを健康保険証として利用できる国は、わが国以外にないという事は確認しています。』

基本的には行政分野ごとに異なる番号が用いられています。アメリカではICカード化はされておらず発行形態は紙です、基本的には氏名、番号のみが記載されており、生年月日などの個人情報や顔写真は記載されません、このため身分証明書にはなりません。イタリアでは、あらゆる機関で共通して使われる番号(共通番号)を国民一人一人につける日本のマイナンバー制度のような仕組みはありません。カナダでは社会保険番号(SIN)が個人番号として利用されていますが「あなたにはSINを守る責任がある」として「SINを財布などにに入れて持ち運ばず安全な場所に保管すること」を呼びかけています。以上のように、主要7カ国(G7)を見渡せば、同一の個人識別番号を複数の行政機関で利用し、それぞれの行政機関の持つ個人情報(1枚のカードにひも付けようとしている国は日本だけです)を日本政府のマイナンバーカード利用拡大政策は世界の主要な国々の流れに逆行しています。こうした事態を招いてはならない、マイナンバー制度の推進に固執するのは、もと保険料の額と、社会保障として給付された税額を比較できる「負担と受益」の個人会計を作らせて可視化し、「この人は負担が少なすぎ、給付削減を強いることを狙ったものではないのか」といって、マイナンバー制度の廃止を含めた再検討を行うべきです。(森秀夫)

猛暑はまだ続きます

高齢者にとって熱中症は命に関わる問題です、健康を第一に考えましょう！